

第50週（令和元年12月9日から12月15日まで）の集計結果

【八王子市内の今週の傾向】

○インフルエンザは、小児科定点あたり29.6人（先週：第49週 定点あたり13.9人）、インフルエンザ定点あたり24.3人（先週：第49週 定点あたり11.6人）と、双方とも大幅に増加し、いずれも注意報レベル（開始基準値：定点あたり10.0人）が継続しています。感染経路は接触・飛沫感染です。

○感染性胃腸炎は、定点あたり12.9人で、先週（第49週 定点あたり6.7人）より大幅に増加しました。感染経路は、経口・飛沫感染です。

○水痘は、定点あたり1.8人で、先週（第49週 定点あたり0.9人）より大幅に増加し、注意報レベル（開始基準値：定点あたり1.0人）となりました。感染経路は空気・飛沫・接触感染です。

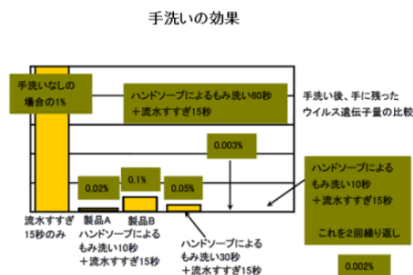
○A群溶血性連鎖球菌は、定点あたり6.1人で、先週（第49週 定点あたり5.2人）より増加しました。感染経路は接触・飛沫感染です。

○手足口病は、定点あたり5.3人で、先週（第49週 定点あたり3.9人）より増加しました。警報レベル（開始基準値：定点あたり5.0人、終息基準値：定点あたり2.0人）が続いています。感染経路は経口・飛沫・接触感染です。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。

☆家庭、通園通学先、職場等で、手洗い、咳エチケット、排泄物・吐物の適切な取り扱い（消毒）等を励行し、感染の拡大を防止しましょう。

○効果的な手洗いの方法

「石けんを充分泡立てた後すすぐ」を2回繰り返すと効果的です。



出典元：東京都健康安全研究センター 「ノロウイルス対策緊急タスクフォース」

【東京都の感染症発生状況】

○現在、東京都ではインフルエンザ、麻疹、風しん、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎、感染性胃腸炎の感染症に注意が必要です。

■東京都感染症情報センター

・「東京都の感染症発生状況」

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/international_ja/

○インフルエンザが注意報レベルになりました。

■東京都感染症情報センター

・「東京都インフルエンザ情報 第9号」

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/flu/2019/Vol22No9.pdf>

・「インフルエンザの流行状況」

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/flu/flu/>

○A群溶血性連鎖球菌咽頭炎の報告数が増加しています。

■東京都感染症情報センター

・「A群溶血性連鎖球菌咽頭炎の流行状況」

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/group-a/group-a/>

・第49週：12月2日から12月8日まで

・第50週：12月9日から12月15日まで

・小児科定点：八王子市内 小児科14ヶ所 都内 264ヶ所

・インフルエンザ定点：八王子市内 小児科11ヶ所、内科7ヶ所

・東京都基幹及び小児科病原体定点医療機関：都内43ヶ所

○都内では、麻疹の届出が2019年1月から12月8日までに123件ありました。麻疹に注意しましょう。

■東京都感染症情報センター

・「感染症ひとくち情報 麻疹に注意しましょう！」

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/measles/hitokuchi-joho.pdf?20191003>

・「麻疹の流行状況」

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/measles/measles/>

○海外では、日本と気候や衛生環境が異なるため、年末年始の海外旅行等の際には感染症に注意しましょう。

■「海外旅行者・帰国者のための感染症予防ガイド」（東京都感染症対策課）

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/yoboguide.html>

■「海外渡航者向けパスター・リーフレット」（厚生労働省）

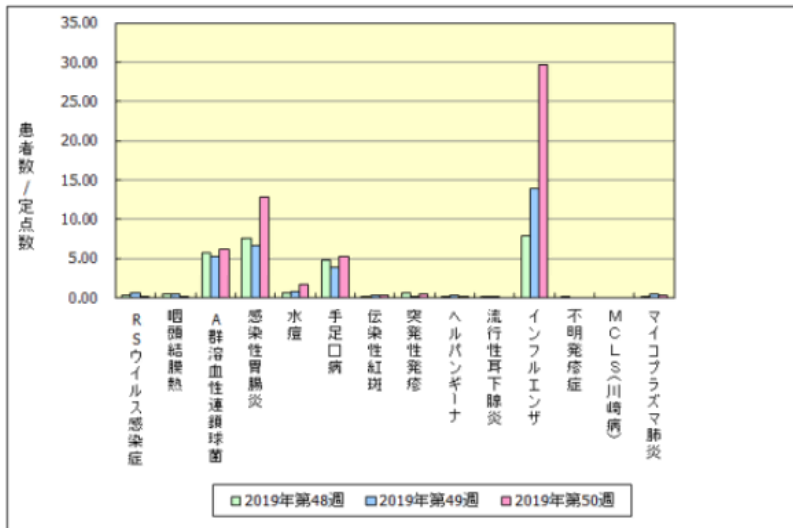
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html

■「海外へ渡航される皆さまへ！」（厚生労働省検疫所 FORTH）

<https://www.forth.go.jp/news/20190409.html>

第50週（令和元年12月9日から12月15日まで）の発生状況

感染症法の施行規則の改正に伴い、百日咳は平成30年1月1日から報告方法が変わり、全数報告疾患となったため、発生状況については、[風しん・麻しん・百日咳発生状況](#)をご覧ください。



第50週疾患毎発生状況グラフ

	2019年 第45週	2019年 第46週	2019年 第47週	2019年 第48週	2019年 第49週	2019年 第50週	第1週からの 合計
RSウイルス感染症	6 ↓	6 →	5 ↓	5 →	8 ↑	3 ↓	550
咽頭結膜熱	7 ↓	7 →	3 ↓	7 ↑	7 →	3 ↓	267
A群溶血性連鎖球菌	47 ↓	57 ↑	58 ↑	80 ↑	73 ↓	86 ↑	1,861
感染性胃腸炎	81 ↑	78 ↓	82 ↑	106 ↑	94 ↓	180 ↑	5,357
水痘	7 ↓	7 →	6 ↓	9 ↑	12 ↑	25 ↑	390
手足口病	53 ↑	36 ↓	44 ↑	68 ↑	55 ↓	74 ↑	2,354
伝染性紅斑	2 ↓	2 →	1 ↓	3 ↑	4 ↑	4 →	476
突発性発疹	5 ↓	8 ↑	4 ↓	8 ↑	2 ↓	6 ↑	250
ヘルパンギーナ	3 ↑	1 ↓	1 →	1 →	4 ↑	1 ↓	835
流行性耳下腺炎	0 ↓	0 →	1 ↑	3 ↑	1 ↓	0 ↓	87
インフルエンザ	8 ↓	15 ↑	23 ↑	111 ↑	194 ↑	415 ↑	7,822
不明発疹症	0 →	2 ↑	0 ↓	2 ↑	0 ↓	0 →	22
MCLS(川崎病)	0 →	1 ↑	0 ↓	0 →	0 →	0 →	4
マイコプラズマ肺炎	4 ↓	9 ↑	3 ↓	2 ↓	6 ↑	5 ↓	85

第50週疾患毎発生状況表

第50週	RS ウイルス	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 連 鎖 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 疹	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ	不 明 発 疹 症	MCLS (川崎 病)	マイ コ プラ ズ マ 肺 炎
～5ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	1	0	0	14	0	3	0	0	0	0	4	0	0	0
1歳	0	0	0	36	0	21	1	2	0	0	12	0	0	0
2歳	1	1	5	24	1	13	0	2	1	0	10	0	0	1
3歳	1	1	7	17	1	7	1	1	0	0	17	0	0	0
4歳	0	0	16	14	0	13	0	1	0	0	24	0	0	1
5歳	0	1	10	17	2	7	1	0	0	0	24	0	0	0
6歳	0	0	9	10	8	4	1	0	0	0	27	0	0	1
7歳	0	0	11	10	4	3	0	0	0	0	56	0	0	0
8歳	0	0	9	2	5	1	0	0	0	0	43	0	0	1
9歳	0	0	5	10	2	0	0	0	0	0	46	0	0	1
10～14歳	0	0	12	14	2	1	0	0	0	0	109	0	0	0
10～12歳											83			
13～14歳											26			
15～19歳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0
20歳以上	0	0	2	9	0	1	0	0	0	0	36	0	0	0
合計	3	3	86	180	25	74	4	6	1	0	415	0	0	5

第50週年齢別発生状況表